

令和6年度事業計画

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

1. 基本方針

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、人間市の特色や実情を踏まえて積極的な取り組みを強化していく必要性が高まっております。

特に、デジタル社会の到来を念頭に置いて、デジタル関連の就業機会の確保に加えて、スマホを活用した業務連絡やデジタル技術を活用した業務の効率化のための基盤整備として、会員のデジタルリテラシー（デジタル技術を理解し活用する能力）の向上に取り組む初年度だともいえます。

また、就業会員の連携やコミュニケーション、センターの事務の効率化を図るため、職群班の運営を見直し体制を整えていくことといたします。

さらに、会員の高年齢化に伴う全国的な重篤事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取り組みを強化するとともに、健康を維持できる就業先の確保やローテーション等について適切な対応を図ってまいります。

令和6年度もシルバー事業に対する地域の期待に応えていくため、本計画に掲げた具体的な取り組みを、センターが一体となって推進していくものといたします。

2. 事業目標（年度末）

(1) 契約金	7億5千4百万円
(2) 会員数	1,490人
(3) 就業延人員	12,700人
(4) 事故件数	0件

3. 事業計画

(1) 安全・適正就業の徹底

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業運営の根幹となり、センターを挙げて安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故、傷害事故の撲滅及び健康の確保を図ることが肝要です。そのため、全シ協発行の「安全就業ニュース」を活用し、事故事例等を「他人ごと」ではなく、「自らのこと」として認識できるよう、安全意識の徹底とその高揚を図るとともに、安全対策を徹底します。特に、重篤事故の撲滅を図るためには、安全対策が確実に機能しているか定期的に巡回点検することが重要となります。

また、全国的に損害賠償事故が多く発生し、保険財政が破綻寸前となっていることから、引き続き草刈り時の飛散防止対策の徹底を継続してまいります。

(2) 就業機会の拡大

就業機会の拡大に向けて、会員の就業ニーズと地域のニーズを把握・分析し、適切な取り組みを行います。

① 会員による1人1仕事の徹底 ② 女性会員の就業先の拡大 ③ 過去の発注先への訪問 ④ 入間市との連携強化による仕事の確保 ⑤ 家事援助サービス事業の積極的な推進 ⑥ 小学校の放課後学童保育における積極的な推進 ⑦ ハローワークや商工会議所等との連携を通じた新たな事業の拡大 ⑧ デジタル技術を活用できる就業機会の開拓や独自事業等を積極的に実施し、希望職種を選択肢を増やす就業機会の拡大に繋げてまいります。

(3) 地域社会への貢献

センターが、地域社会の一員として存在意義を高めていくため、ボランティア等の社会活動のほか、地域の課題解決につながる活動を行うことができるよう、日頃から入間市との連携を強化し、地域の社会貢献への取り組みに賛同できる会員の増強に努めてまいります。

また、既存の就業先企業等への働きかけによる定年退職（予定）者層の入会促進に努め、市内企業の人手不足解消に寄与してまいります。

(4) 普及啓発の推進

独自事業イベント班を中心に入間市や各種団体などが開催するイベントへ積極的に参加し、シルバー事業の広報活動を充実してまいります。

また、前年度に引き続き、センター主催の「元気な入間文化祭」や「元気な入間ウォーキング大会」を通して、会員と市民が共に楽しめるイベントとして開催いたします。

さらに、会員満足度調査で好評価となった「シルバーだより」及び「会員の皆様へ お知らせ版」をより充実した情報発信ツールとして、内容を深めてまいります。さらに、会員のホームページの活用方法も見直し、より分かりやすく充実した内容にすると共に入会促進にも寄与してまいります。

(5) フリーランス新法への対応

政府においては、いわゆるフリーランス（企業に雇用される以外の形で働く者＝個人事業主）が安定的に働ける環境を整備するための新法が10月に施行されます。会員もフリーランスとして位置付けられるため、法制化の動きを注視しつつ必要に応じて適切な対応を図ってまいります。

また、厚生労働省において検討されている契約方法の見直しについても、これを機に適切に対応してまいります。